

科目名	J A Z Z 6							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	Yo-co/松GORI/suzuyaka			教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダンサー
【科目の目的】									
この科目ではJAZZダンスを修得する上で必要となる、正しいエクササイズ、ストレッチ方法を学び自分の体の作りや可動域の理解(可動域を広げる適切なストレッチを行うため)します。その上でJAZZダンスに関する基本なテクニックの修得を行います。修得したテクニックを使いクラシックダンスからのアプローチ、ポピュラーミュージックの中でのJAZZ表現など様々な音楽の中で自己を表現をする技術を修得する事を目的とします。									
【科目の概要】									
この科目ではJAZZダンスを修得する上で必要となる、正しいエクササイズ、ストレッチ方法を学び自分の体の作りや可動域の理解(可動域を広げる適切なストレッチを行うため)します。その上でJAZZダンスに関する基本なテクニックの修得を行います。修得したテクニックを使いクラシックダンスからのアプローチ、ポピュラーミュージックの中でのJAZZ表現など様々な音楽の中で自己を表現をする技術を修得する事を目的とします。									
【到達目標】									
この科目ではJAZZに必要な柔軟性や基礎技術を身に付けた上で、それぞれの個性を磨き表現者としての土台を作っていきます。多種多様な作品の中でもしっかりと技術と表現のバリエーションを持つ事、ダンサーとして必要な基礎体力や筋力を作り上げる事を目標とします。									
【授業の注意点】									
ジャズシューズ、なるべく体のラインが見える服装を着用する事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術を理解、習得している。	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術をやや理解、習得している。	各部位のアイソレーション技術を理解、習得しているが受講態度が良くない。	各部位のアイソレーション技術の理解、習得度が低い。	受講態度も悪く各部位のアイソレーション技術の理解、習得ができていない。				
到達目標 B	受講態度も良くストレッチの動きを理解しダンスの表現に活かせる。	受講態度も良くストレッチの動きを理解、習得している。	ストレッチの動きを理解、習得しているが受講態度が良くない。	ストレッチの動きの理解、習得度が低い	受講態度も悪くストレッチの動きの理解、習得が出来ていない。				
到達目標 C	受講態度も良くJAZZの基礎的なステップを理解、習得している。	受講態度も良くJAZZの基礎的なステップをやや理解、習得している。	JAZZの基礎的なステップをやや理解、習得しているが受講態度が良くない。	JAZZの基礎的なステップの理解、習得度が低い。	受講態度も悪くJAZZの基礎的なステップの理解、習得ができていない。				
到達目標 D	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法、グループを身に付けている。	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている。	振付に合わせた最適な表現方法を身に付けているが受講態度が良くない。	振付に合わせた最適な表現方法の習得度が低い。	受講態度も悪く振付に合わせた最適な表現方法の習得が出来ていない。				
到達目標 E	受講態度も良く音楽に合わせて何通りもフリースタイルで踊る事が出来る	受講態度も良く音楽に合わせて1～2通りであればフリースタイルで踊れる	音楽に合わせて1～2通りであればフリースタイルで踊れる	短い時間であればフリースタイルを踊れる	フリースタイルで踊る事が出来ない				
【教科書】									

適時レジュメ・資料を配布する									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
成果発表		50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する						
平常点		50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する						
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名			J A Z Z 6					年度	2025
英語表記								学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル			評価方法	自己評価
1	講師A 応用1	振付細部の 表現1	1	表現方法1	手、指への意識の強化				
			2	表現方法2	足先への意識の強化				
			3	反復練習	手先・足先まで意識した振付を実践				
2	講師A 応用2	振付細部の 表現2	1	全身のバランス1	上半身バランスを意識強化				
			2	全身のバランス2	下半身バランスを意識強化				
			3	反復練習	全身のバランスを意識した振付を実践				
3	講師A 応用3	振付細部の 表現3	1	オリジナリティ1	基礎意識した上で個性を出せるようになる				
			2	オリジナリティ2	振付の中での感情表現を実践				
			3	発表	規定課題にオリジナリティを入れ発表				
4	講師B 応用1	体幹・筋トレ	1	体幹・筋トレ強化	より強度の高い体幹・筋トレを実践				
			2	軸の強化	身体の軸を強化するトレーニングを実践				
			3	ターン応用	より高度なターンを実践				
5	講師B 応用2	リズム	1	正確性1	リズム取りの正確性を向上させる				
			2	正確性2	リズム取りを意識した振付を実践				
			3	反復練習	リズム取りを意識した振付を反復練習				
6	講師B 応用3	振付への 理解度	1	テーマ理解	振付のテーマを理解して振付実践				
			2	楽曲理解	楽曲の意味を理解して振付実践				
			3	反復練習	楽曲・テーマを理解して振付を反復練習				
7	講師C 応用1	スローテンポ	1	スローテンポ振付	スローテンポの楽曲での振付実践				
			2	スローテンポ表現	振付表現で留意すべき点をフィードバック				
			3	反復練習	テンポ・表現を意識し反復練習				
8	講師C 応用2	アップテンポ	1	アップテンポ振付	アップテンポの楽曲での振付実践				
			2	アップテンポ表現	振付表現で留意すべき点をフィードバック				
			3	反復練習	テンポ・表現を意識し反復練習				
9	講師C 応用3	ペアダンス	1	ペアワーク	ペアダンスの規定振付を実践				
			2	反復練習	ペアごとの反復練習				
			3	発表	全体、少人数で発表				
10	卒業公演 振付1	テーマ理解	1	作品テーマ	振付師が表現する作品テーマへの理解を深める				
			2	楽曲	使用する楽曲への理解を深める				
			3	表現内容	振付イメージ等表現内容を理解する				
11	卒業公演 振付2	ユニゾン	1	振り落とし	ユニゾンパートの振付を習得する				
			2	反復練習	反復練習を行い全員が振付を習得する				
			3	確認	振付師イメージを落としこみをおこなう				
12	卒業公演 振付3	立ち位置・構成	1	レベルチェック1	ユニゾン振付を全体で発表				
			2	レベルチェック2	ユニゾン振付を少人数で発表				

			3 立ち位置・構成	レベルチェックを基に立ち位置・構成を決定		
13	卒業公演 振付4	少人数・ソロ パート	1 振り落とし	少人数・ソロパートの振付を習得する		
			2 オーディション	振付師の指示に従いオーディションを行う		
			3 出演者確定	少人数やソロパート出演者を確定する		
14	卒業公演 振付5	全体構成	1 全体構成	全体の流れ・立ち位置を確認、習得する		
			2 反復練習1	反復練習を行い全員が振付を習得する		
			3 反復練習2	反復練習を行い全員が振付・構成を習得する		
15	レベルチェック	レベルチェック	1 ユニゾン	ニュアンス・振付の正確性を確認		
			2 パート	ニュアンス・振付の正確性を確認		
			3 構成	ニュアンス・振付の正確性を確認		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						